



ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.26

会長 西崎 徳彦 幹事 柳 口 崇 編集者 沼田 啓后 令和2年2月4日発行



ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-2020年度
RI会長
マーク・ダニエル・マローニー
Mark Maloney

1月28日例会（第2113回）記録

司会 飛石SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「八代南RC讃歌」

ゲスト 福田寿生様（熊日八代支社長）

来訪者 毛利和子君（八代東）

連続出席表彰

8年 松嶋会員・飛石会員

1年 西崎会員・淵上会員

会長の時間 西崎会長

先週1月20日に三菱電機が受けた不正アクセスによる大規模なサイバー攻撃では、約8000人の個人情報や取引先の機密情報が流出されました。中国系ハッカー「Tick」及び別の集団が関与したと言われております。一般的なハッキングには、大きく分けて情報を取得するためのハッキングとシステムを破壊するためのハッキングがあります。システムとは、会計等のソフト

2月11日の例会	2月18日の例会
休会	外部卓話 DMOやっしらの 取り組みについて
VSOP今年度累計	249,723円

トや専門のプログラムからなる各業種専用の管理ソフトや処理する為のソフト等があります。システムの構成は、情報（データ）と処理（ソフト）になります。情報を盗んだり消したりする事や処理するプログラムを破壊する事が、ハッキングの目的とされております。対策には、個々のPCを守る為のウィルス対策ソフトとネットワークの入口で遮断させる為のUTMというアダプター設置の二種類が有名です。今回の三菱電機では、PCからネットワークへのアクセス管理を行っており、使用状況の不自然な点からハッキングが発覚できた事となります。

ウィルス対策ソフトをPCにインストールす

出席報告 里副委員長				欠席会員名		マークアップ済会員名		
本日の出席	会員総数	47名	出席率	山口・守田・毛利・宮田・淵田・三枝崎・中道・豊岡・續・谷川・園川・澤田・坂本・小林・城戸・岡村	清田（1/15八代）			
	出席会員数	28名						
	当日分マークアップ済会員	1名						
	計	29名			64.40%	計	16名	1名
1/14の修正	1/14の出席会員数	29名	出席率	前回は補填会員名	鮫島（1/21 理事会）			
	補填会員数	1名						
	計	30名			66.60%			
昨年	月出席会員数	名	%	計 1名				
他出席会員名 マークアップ	出席免除：西田会員・市野会員							
							計	0名

る事で人間と同じようにPC内にワクチンが注射されますが、新しいウィルスには対応が遅れる事があります。現代は、ウィルスソフトを出来るだけ最新に更新する事で対応されております。UTMは軍事機密を守るネットワークへの侵入を阻止する機器であり、イスラエル製が多いと言われております。このUTMでは、各事業者のネットワークへ不法に侵入しないように検問を行っていると考えていただければ良いかと思えます。また、UTMでは、危険なサイトへアクセスすると自動的にブロックする等の工夫もされております。ウィルスソフトと同様にUTMも最新に更新される機器ではあります。

短い時間で概要を簡単に説明しましたが、大事な事は、各企業で情報を守る事です。情報の復元も大事です。紙資料を金庫に入れるのか、データをバックアップして管理するのか、アナログもデジタルも情報の管理と考えましょう。

私見として、こうした話は恐怖心を煽る営業トークが非常に多い市場です。悪質で高額な対応もございますのでお気をつけください。業種によっては、ウィルスソフトの義務化はございますが、UTMの義務化は特に聞いておりません。マスクをつけて歩くのか、予防接種を行うかと同様の自己責任ではないでしょうか。

幹事報告 柳口幹事

1. 例会取り止め・変更
 - ・熊本西RC 2月18日(火)定款第8条第1節に基づき取り止め。
 - ・八代北RC 2月21日(金)は「夜間例会」の為日時：2月21日(金) 18:30～
会場：真魚

2. 例会終了後、臨時理事会を開催します。

スマイルBOX 上原委員長

宮川・洲上の両会員：熊日八代支社長の福田様のご来訪を歓迎し、卓話を楽しみにしています。

上村会員：誕生祝ありがとうございました。

ロータリー財団委員会 野尻会員

VSOPに寄付

氏名	今回の寄付金額
中川会員 (中川外科)	17,727円
洲上会員 (クラブ上海)	6,000円

卓話 八代港の航跡

熊日八代支社長 福田寿生 様

八代に赴任して2年近くがたち、妙見祭や花火大会をはじめとする行事もあらかた見学し、クルーズ船の来航、市庁舎の建設、民俗資料館の開設、中心市街地の活性化など、八代が抱えている課題も紙面で報道し続けています。本日は、八代市の底流を形成した八代港の歴史に焦点をあてたいと思います。

1年余り前、八代支社では港の歴史を振り返る「八代港の航跡」という連載に取り組みました。きっかけは多くのクルーズ船の入港です。いつからあれほど巨大な船が出入りするようになったのか、驚きでした。

連載を通してまず知ったのが、八代の港は「徳淵の津」から「蛇籠港」「八代内港」「八代外港」と時代とともに沖合に移動したことです。理由は球磨川が運んでくる大量の土砂でした。八代の港は常にこの土砂を浚渫しなければならぬ運命にありました。戦国時代から江戸時代にかけて利用された「徳淵の津」は長年にわたる土砂が堆積。浚渫を繰り返してきたと思われていますが、その後の近代化に対応できないと考え、明治初年、約1キロ下流に蛇籠港が誕生したようです。

蛇籠港の古い写真は結構たくさん残っていません。特に先ごろ亡くなられた八代の写真家麦島勝さんが数多くの写真を残されています。写真というのは、文章よりも雄弁に昔の様子を語ってくれるものなのだ、と痛感させられます。どの程度のにぎわいで、どんな大きさの船が来ていたか、一目瞭然です。人々の声、潮の匂い、船の油の匂いさえ感じられるようです。八代の近代の記憶を刻んだ麦島さんの作品は、今後も大事にしていくべきだと思います。

若い記者には、蛇籠周辺や本町、内港周辺のお年寄りから話を集めました。まだ港のにぎわいを覚えている高齢者の方々がだいぶいらっしゃって、取材に積極的に協力していただきました。平成生まれの記者にとっての明治・大正は、私たちが感じているよりずっと遠い時代だったようです。

こうして栄えた蛇籠港も、日本セメント、日本製紙、興人、メルシャンなどの工場の進出を

支えきれなくなり、国への熱心な陳情が実を結んで八代内港が整備されます。完成したのは昭和32年です。ただ当時は蛇籠港もまだ定期航路の港として機能していたようで、本渡、島原、三角などを結ぶ船がたくさん出入りしていました。しかし次第に定期航路の発着は内港に移動。蛇籠港は「八代の玄関口」としての役割を終えました。

内港の完成と相前後する時期、外港の整備も始まります。先日、市立博物館の松井館長からうかがった話を紹介します。外港の整備が進んでいた昭和45年頃、作家の司馬遼太郎さんが八代に来られたそうです。その際、松井館長のおじにあたる、細川護貞さん（細川護熙元首相の父親）が八代を案内されています。松井館長は車の運転手を務められたそうです。松浜軒や春光寺を巡った後、なんと八代外港にも行かれたそうです。当時住んでいた鎌倉から駆け付けて案内役をかった護貞さんが、建設途上の外港に行かれたのはちょっと意外でした。外から八代を見ていた護貞さんにとって、八代＝港、だったのではないかと、思わずにはいられません。

その後、外港の工事が進み、セメント工場に多くの石灰岩を供給していた大築島では掘削が終了し、離島だった大島は石油基地が建設されたことで陸続きになりました。港の様相はすっかり変わったようです。昭和50年頃、まだ工場が進出していなかった外港ではイ草干しなどものどかに行われていて、そういった写真も数多

く残っています。なんでもないこうした風景を写真に収めた先人たちの鋭敏な感覚には頭が下がる思いです。

この春には外港にクルーズ船用のターミナルや公園、駐車場が完成します。今後、この港がどう進化していくのか、注目していきたいと思います。

今回、港を中心に昔の写真を紹介しましたが、それとは別に八代市に関して気になっていることがあります。泉、東陽、坂本、二見、日奈久などの周辺地域の衰退が加速的に進んでいるように見えます。もちろん行政もそういった地域に目配りしていますが、なにしろ広大なエリアを持つ市だけに、どこか無理が生じているようにも見えます。私たち地元紙はそのあたりの問題提起をやり続けるべきだと感じています。ロータリーの皆さま方におかれましても、八代市全地域を活性化する智恵を出してもらえれば、と期待しております。

第13回理事会 議事録

日時：1月28日(火) 13:30～

出席者：西崎・柳口・飛石・前田・鮫島・

富・鶴田・野尻・淵上の各会員

- ・澤田会員退会について→承認
- ・澤田会員会費について→1月分の会費で承認
- ・インターアクト設立について
→継続審議



卓話 福田寿生 様





連続出席表彰の皆さん

八代北RC50周年式典 (R2.2.1)

